

ぴっく・あっぷ 5

May

お出かけは環境にやさしい都営交通で

歴史的建物にも注目! 「新宿御苑」を散策



新宿御苑は、徳川家康から屋敷地を拝領された譜代の家臣、内藤清成の江戸屋敷の一部がもとになった公園。明治に入り、農事試験場を経て皇室の庭園になり、昭和24年に国民の公園として一般に公開されました。園内にはフランス式整形庭園、イギリス風景式庭園、日本庭園が巧みに配され、歴史的建物が点在しています。

※新宿御苑内は酒類の持ち込み、遊具類の使用、火気の使用は禁止。その他、公園内では施設管理者等の指示に従ってください。

- ▶都営新宿線新宿三丁目駅下車徒歩5分
- ▶開園9:00～16:00(閉園は16:30)
- 休園 月曜(祝祭日の場合は翌日)入園料 200円、小中学生50円(5月4日は「みどりの日」のため無料、5月5日は「こどもの日」のため中学生以下は無料)
- ☎03-3350-0151(新宿御苑管理事務所)

玉藻池

内藤家屋敷跡の面影をとどめる庭園

現在の大木戸休憩所内に内藤家の御殿が建てられていて、池、谷、築山をしつらえた庭園「玉川園」がありました。江戸の名園といわれた庭園で、新宿御苑のルーツです。

イギリス風景式庭園

広大な芝生と巨樹が特徴

見晴らしのよい芝生が広がり、大きな花を咲かすタイサンボクやケヤキなどの巨樹が点在する庭園。新宿門からフランス式整形庭園を結ぶ見通し線の中央には、御苑のシンボルツリーの高さ30mを越すユリノキがそびえています。



フランス式整形庭園

バラとプラタナスの並木がみごと

初夏に約100種500株の花々が咲き誇るバラ花壇を中心に、左右に2列ずつ、計4列156本のプラタナスの並木が美しく整形されています。ヨーロッパの雰囲気を感じさせる約200mの並木道は、憩いの空間になっています。



大温室

熱帯の植物や絶滅危惧植物を展示

最新の環境技術を盛り込み、2012年11月にリニューアル。池や滝を配した温室は熱帯の森の中を思わせます。入口わきには大温室建設の際に出土した明治期の遺構の一部をそのままの形で展示しています。

▶9:30～15:30(閉館は16:00)



日本庭園

ゆるやかな水の流れに沿った庭園

古くは鴨場として作られ、昭和初期に日本庭園に改装された池泉回遊式の庭園です。水辺の涼を楽しむ旧御涼亭が建ち、亭内からは四季折々のすばらしい風景が広がります。5月にはツツジやサツキが山を覆い、藤棚のフジもみごとです。池にはカモ類の姿も見られます。



インフォメーションセンターで見ごろの花をチェック

新宿御苑に入園する前に、新宿門の入園ゲートわきにあるインフォメーションセンターに立ち寄りましょう。まずは園内マップを入手し、回り方を検討するのがおすすめ。園内マップには各庭園とともに、歴史的な巨樹、季節の花、休憩所、トイレの位置も載っています。センター内にはその日の花の開花状況や見ごろの植物の情報もあり、カレー等の軽食もとれるカフェも併設しています。

▶施設利用時間 9:00～16:30 新宿御苑休園日は休み

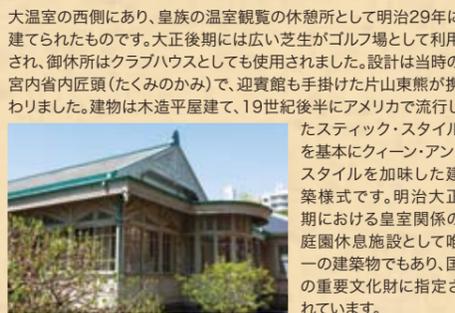


入園ゲートの外にあるインフォメーションセンター

趣きある歴史遺産をたずね歩く

園内には皇室の伝統を受け継ぐ貴重な建造物が点在します。自然散策とともに歴史的な建物をたずね歩いてみましょう。

旧洋館御休所 (きゅうようかんどきゅうしよ)



大温室の西側にあり、皇族の温室観覧の休憩所として明治29年に建てられたものです。大正後期には広い芝生がゴルフ場として利用され、御休所はクラブハウスとしても使用されました。設計は当時の宮内省内匠頭(たくみのかみ)で、迎賓館も手掛けた片山東熊が携わりました。建物は木造平屋建て、19世紀後半にアメリカで流行したスティック・スタイルを基本にクイーン・アン・スタイルを加味した建築様式です。明治大正期における皇室関係の庭園休息施設として唯一の建築物でもあり、国の重要文化財に指定されています。

旧新宿門衛所・旧大木戸門衛所

現在の新宿門から200mほど西に旧新宿門衛所があり、大木戸門の脇に旧大木戸門衛所があります。いずれも昭和2年に建てられ、当時の建築デザインが反映されています。



旧新宿門衛所



旧大木戸門衛所

擬木橋 (ぎぼくばし)

下の池にかかる橋の欄干はコンクリートにより木を模したもので、明治33年にパリ万博で展示されたものを輸入し、明治38年にフランス人技師によって設置されました。日本初の擬木橋です。



旧御涼亭 (きゅうごりょうてい)

昭和3年に昭和天皇のご成婚記念に台湾から贈られた建物です。別名「台湾閣」と呼ばれ、都内で見ることができない数少ない本格的な中国建築物の一つです。特徴としては屋根の軒の反りや漆喰で仕上げた棟の燕尾など、台湾で用いられた閩南(びんなん)建築様式が見られます。また、建物の一部には、タイワンヒノキ(格組天井)やタイワンスギ(柱など)が使われています。注目は玄関の円窓で、「於物魚躍(あゝ満ちて魚躍れり」と天子を賛美する言葉が描かれています。



旧御涼亭玄関のわきにある円窓。亭内からは日本庭園の四季折々の景色が眺められます



楽羽亭 (らくうてい)



▶呈茶 10:00～16:00(不定休) 一服700円(抹茶・和菓子付き)

明治39年頃に創建され、現在のものは昭和62年に復元されたものです。創建当時の日本庭園には鴨場があり、皇室の休息所として利用されていました。楽羽亭の名前は、鳥たちが楽しそうに羽ばたいていく姿をイメージしたのが由来。現在は抹茶と和菓子がいただける茶室になっています。

イベントガイド

第3回 大塚バラまつり 5月12日(日)～26日(日)

去年から始まり春と秋に開催される「大塚バラまつり」。沿線に咲くバラの品種は都内最多。イベント期間中、地元商店街の街灯や店先などに彩り鮮やかなバラが飾られます。

- 会場 都電「大塚駅前」から「向原」までの沿線、天祖神社、大塚台公園、沿線商店街
- 内容 フォトコンテスト(テーマ「都電とバラ」)、バラの苗即売会(12日)、小山内健さん講演(17日)
- 都電荒川線大塚駅前停留場3分



第5回 あらかわバラの市 5月18日(土)

荒川区内の都電沿線のバラが咲き誇る5月。町屋駅前周辺では、荒川区主催による「あらかわバラの市」が開催。ズラリと並ぶ5,000鉢の華やかで芳しいバラがあなたを包み込みます。

- 会場 町屋駅前周辺
- 開場 9:30～15:00(小雨決行)
- 内容 5,000鉢のバラの販売、地元商店街によるバラ関連商品の販売、バラの講習会、栽培等の相談コーナー、ローズカフェ、都電PRコーナー
- お問い合わせ:荒川区公園緑地課 ☎03-3802-3111(内線2752)
- 都電荒川線町屋駅前停留場すぐ



都営交通ニュース

都電バラ号を運行します

都電沿線の風物詩となっている春のバラが咲き誇るなか、5月中は赤いレトロ車両9001号車を車内にバラの装飾を施した特別電車「都電バラ号」として運行します。車窓を飾る沿線のバラを眺めながら都電散策を楽しんでみませんか。

- 運行日 5月3日(金・祝)～6月2日(日)
- ※ホームページ「都電運行情報サービス」では、パソコンや携帯電話からリアルタイムで形式や車号を指定した都電車両の位置を確認することができます。 <http://tobus.jp/toden>



「都営交通お客様センター」を開設しました

交通局では、お客様の利便向上を図るため、既存の「都営交通インフォメーションセンター」と「東京都交通局お忘れものセンター」を拡大再編し、4月1日より「都営交通お客様センター」を開設しました。更なるサービスの向上につなげていきます。

- 営業時間:9:00～20:00(年中無休)
 - 受付内容:都営交通に関すること全般(お忘れ物、運賃、時刻のお問い合わせ、ご意見・ご要望など)
 - 電話番号:03-3816-5700
 - FAX番号:03-3812-7640
- 電話でのお問い合わせの際は、自動音声ガイダンスが流れますので、ご希望のお問い合わせ内容にあわせて以下の番号を選択していただきます。
- 運賃、時刻、ルートなどのお問い合わせ ⇒ 1番をお選びください。
 - お忘れ物などのお問い合わせ ⇒ 2番をお選びください。
 - その他、ご意見・ご要望などのお問い合わせ ⇒ 3番をお選びください。

携帯電話でも「ぴっく・あっぷ」がご覧いただけます。

- 東京都交通局ホームページ…地下鉄ナンバリング路線図・乗り換え案内が検索できます。 <http://www.kotsu.metro.tokyo.jp>
- 「ぴっく・あっぷ」モバイル(携帯用)サイト <http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/m/>

【遊んで得する特典ガイド「いっく」配布中】
「都営まるごときっぷ」等の特典対象乗車券をお買い上げのお客様がご利用いただける、沿線施設での料金の割引やプレゼント等の特典をご紹介します。東京人気スポットめぐりにぜひ活用ください!
【いっく4～6月号】

- 配布場所:都営地下鉄各駅(押上・目黒・白金台・白金高輪・新宿線新宿を除く)、都営バス営業所・支所
- 特典対象乗車券:「都営まるごときっぷ」「都営地下鉄ワンデーパス」「都バス1日乗車券」など
- 特典対象施設:レジャー、飲食店、美術館等、都内67施設
- 詳細は、「いっく」誌面でご確認ください。

東京都交通局

- このポスターへのご意見は、交通局電車部営業課 ☎03-5320-6076
- 都電、都バス、都営地下鉄及び日暮里・舎人ライナーについてのお問い合わせは、都営交通お客様センター ☎03-3816-5700 営業時間:9:00～20:00(年中無休)

携帯電話の
マナーにご協力ください

優先席付近では携帯電話の電源を切りください。それ以外では、マナーモードに設定の上、通話はご遠慮ください。

●行事・記事などの詳細は、各記事のお問い合わせ先にお電話ください。入場券等を用意している施設につきましては、身分証明書(学生証・障害者手帳等)の提示が必要な場合がありますので、ご留意ください。